【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【公開番号】特開2001-69492(P2001-69492A)
【公開日】平成13年3月16日(2001.3.16)
【出願番号】特願平11-243281
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/18　(2006.01)
Ｇ０８Ｂ　25/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/268　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/18　Ｄ
Ｈ０４Ｎ　7/18　Ｆ
Ｇ０８Ｂ　25/00　５１０Ｍ
Ｇ０８Ｂ　25/00　５２０Ａ
Ｈ０４Ｎ　5/268
Ｈ０４Ｎ　7/13　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月25日(2006.8.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　所定の監視領域の画像情報を撮像する複数の撮像部からの画像を映像出力制御装置経由で受ける画像入力部と、
映像出力制御装置の制御を行う、外部装置制御部と、
映像伝送装置の全体処理を司る、中央処理部と、
画像入力部で入力した画像を符号化する、画像符号化部と、
画像符号化部で符号化した画像を蓄積し自由時間軸で再生制御をする、符号化画像保存部と、
ネットワークを介してクライアント端末との間のデータの送受信を行う、通信部とを有して、
符号化画像保存部で蓄積した画像を、画像通信部を介しネットワーク通信によりクライアント端末から制御するように構成したことを特徴とする映像伝送装置。
【請求項２】　前記映像出力制御装置は、複数の映像入出力の組み合わせを切換える映像切換え装置を用い、
所定の監視領域の画像情報を撮像する複数の撮像部からの画像を映像切換装置経由で受ける画像入力部と、
映像切換装置の制御を行う、外部装置制御部と、
映像伝送装置の全体処理を司る、中央処理部と、
画像入力部で入力した画像を符号化する、画像符号化部と、
画像符号化部で符号化した画像を蓄積し自由時間軸で再生制御をする、符号化画像保存部と、
ネットワークを介してクライアント端末との間のデータの送受信を行う、通信部と、
を有し、映像切換装置の制御及び複数の撮像部の映像出力をネットワークを介し通信する

ように構成したことを特徴とする請求項１記載の映像伝送装置。
【請求項３】　前記外部装置制御部は、映像切換装置の出力端子番号と映像伝送装置の入力端子番号を関係づけるテーブルを記憶するテーブル記憶部と、指定された入力端子番号を映像切換装置の出力端子番号に変換して映像切換装置を制御するコマンドを出力するコマンド変換部を有しており、監視サイドからは、映像切換装置の出力番号を意識することなくアクセスできるように構成したことを特徴とする請求項２記載の映像伝送装置。
【請求項４】　前記外部装置制御部は、複数の映像入力に対して、各入力毎に映像を切り換える順番や時間間隔を記憶するシーケンス情報記憶部と、入力映像切換えを実行するシーケンス処理部を有しており、複数の映像入力を順番に切換えた画像を符号化画像保存部に保存し、ネットワークを介し画像を配信することを特徴とする請求項２記載の映像伝送装置。
【請求項５】　前記画像入力部は、中央処理部の制御により複数の映像入力を切換える映像入力切換部を有すると共に、符号化画像保存部は、映像入力端子番号毎に画像を記憶する端子番号別画像記憶部と、映像入力端子番号に対応して自由時間軸で再生制御をする再生制御部を有しており、複数のクライアント端末に対して、同時に異なる映像入力に対応した画像を配信するように構成したことを特徴とする請求項２記載の映像伝送装置。
【請求項６】　ユーザＩＤとアクセス可能な映像入力端子番号の対応づけを行うテーブルを記憶するユーザ情報記憶部と、
通信部で受信したユーザ情報から、映像入力端子番号に対するユーザ認証を行う、ユーザ認証部から構成される、ユーザ情報管理部とを有し、
ユーザＩＤに対応した映像の配信や、外部制御装置の制御等のアクセス制御を行うことを特徴とする請求項２記載の映像伝送装置。
【請求項７】　前記外部装置制御部が、入力コマンドと出力コマンドの対応テーブルを記憶するコマンド記憶部と、コマンド記憶部を参照しクライアント端末から受信したコマンドを変換するコマンド変換部を有したことを特徴とする請求項２記載の映像伝送装置。
【請求項８】　前記映像出力制御装置として、複数の映像を切換えながら記録できる装置である、映像記録装置を用い、
所定の監視領域の画像情報を撮像する撮像部からの画像を映像記録装置経由で受ける映像入力部と、
映像記録装置の制御を行う、外部装置制御部と、
映像伝送装置の全体処理を司る、中央処理部と、
映像切換装置からの画像情報を、符号化する、画像符号化部と、
画像符号化部で符号化した画像を蓄積し自由時間軸で再生制御をする、符号化画像保存部と、
ネットワークを介してクライアント端末との間のデータの送受信を行う、通信部と、
を有して、映像記録装置の制御及び複数の撮像部の映像出力をネットワークを介し通信するように構成したことを特徴とする請求項１記載の映像伝送装置。
【請求項９】　前記外部装置制御部が、
制御線より画像記録装置から表示情報を取得する情報入出力部と、
取得した表示情報から表示用データを生成する表示データ生成部と、
を有して、映像記録装置から取得した情報を文字情報にしてネットワークを介しクライアント端末に渡すことにより読みやすくなるよう構成したことを特徴とする請求項８記載の映像伝送装置。
【請求項１０】　前記外部装置制御部が、
クライアント端末上で１クリックする事でネットワークを介し送られてきたコマンドを制御コマンドに変換する情報変換部を有して、
１クリックで蓄積画像の再生を行うことができるよう構成したことを特徴とする請求項８記載の映像伝送装置。
【請求項１１】　前記外部装置制御部が、
映像情報を文字情報に変換する情報変換部と、

情報変換部で変換された情報を保存する、情報保存部と、
を有して、映像情報を文字情報にして取り出すことができるように構成したことを特徴とする請求項８記載の映像伝送装置。
【請求項１２】　外部装置制御部が、
クライアント端末からネットワーク経由で制御信号を受信するコマンド受信部と、
現在の時間を管理する時間管理部と、
受信したコマンドを解釈し、時間管理部と外部機器に対して、制御信号を送り時刻同期をとるコマンド制御部と、
を有して、外部機器との時間同期が取れるように構成したことを特徴とする請求項１記載の映像伝送装置。
【請求項１３】　ネットワークとの間で情報交換を行い、ネットワークからの情報を受信する情報受信部と、各国回線状態を記憶している、回線種別記憶部とを有し、
回線種別に合わせて動作を行うように構成したことを特徴とする請求項１、２もしくは９のいずれか一に記載の映像伝送装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また、入力コマンドと出力コマンドの対応テーブルを記憶するコマンド記憶部と、コマンド記憶部を参照しクライアント端末から受信したコマンドを変換するコマンド変換部を有する構成にすることを可能にする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
　また、映像出力制御装置として、複数の映像を切換えながら記録できる装置である、映像記録装置を用い、映像記録装置の制御及び複数の撮像部の映像をネットワークを介し通信できるようにする。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】削除
【補正の内容】